

## 優れた日本文化伝統は失われず」秋田で李登輝氏講義



国際教養大で華道の授業を見学する李氏ら

台湾の李登輝前総統(84)が6日、国際教養大(秋田市)近くのプラザクリプトンで「日本の教育と台湾 私が歩んだ道」と題して特別講義し、学生や住民に「日本教育の長所は武士道精神によく表現される実践にある」と強調した。

李氏は、22歳まで受けた日本の教育を「受けなければ自分の生命と魂を救う基本的な考え方は得られなかった」と称賛した上で、「声を大にして武士道精神を再評価しようとするのは、日本人本来の精神的価値観をいま一度、想起してほしいからだ」と訴えた。

さらに、「高い精神と美を尊ぶ心の混合体こそが日本人の生活で、日本文化そのもの」と表現。念願だった「奥の細道」もたどり、「戦後60年で大変な経済発展を遂げたが、日本文化の優れた伝統は進歩した社会でも失われていなかった」と日本の印象を総括した。

李氏は国際教養大で華道の授業などを見学後、記者会見。東北の旅を終えて「飛行機や新幹線で移動したが、もう少し松尾芭蕉の気持ちを味わいたかった」と述べる一方、今後の台湾社会について「情勢は非常に難しいが、政治的なことより、いい市民社会をつくり上げ、もう少し良い教育ができることを望んでいる」と語った。

2007年06月06日水曜日

<http://jyoho.kahoku.co.jp/member/news/2007/06/20070607t45001.htm>